

平成 28 年 (2016) 皇紀 2676 年

大宮八幡祭り(秋の大祭)号【第106号】

http://www.ohmiya-hachimangu.or.jp/

主な目次

大宮八幡祭りを迎えて	2頁
大宮八幡祭り(秋の大祭)のご案内…	3頁
十五夜の神遊び	4頁
杜の話題	-8頁
大宮八幡の杜 秋も深まり	·9頁
初宮詣芳名・どんぐり通信10・	11頁
大宮八幡祭り社頭圃書	12百



大宮八幡然りを迎えて

の7日の日曜日に予定されています。りに向けた準備段階に入りました。りに向けた準備段階に入りました。りに向けた準備段階に入りました。ちば、第31回神輿合同宮入りの打ち合わせ会は通常、祭典委員会前の日曜日に予定されていましたが、生憎都のよりました。

中 7月2日~8日、恒例の形代流し 大祓詞の送次川中で斎行致しました。 大祓詞一巻を奉唱のあと、水無月の らまれて行く灰。目に見えぬ罪制が、今年程神聖な神事の形代を灰にしたものを、 を地の河川や海で斎行致しました。 自然の豊かな大川の流れによって行くを所。目に見えぬ罪穢が、今年程神聖な神事とした。 を本海へと運ばれ、やがて神々のおと、水無月の を事じた。今まで毎年この神事は が、今年程神聖な神事として気持ち は、やがて神々のおります。 とで満しました。 をがであると、水無月の をがて神々のおります。 とで変を出来た事はなかったと思

感して頂いた事でしょう。

去る4月14日に熊本、大分両県を中心に大地震がありました。更に16日末明同等の本震があり、前回が前震であったとか、二度の大地震にあるとき、次々にお悔やみ申し上げるなられた方々にお悔やみ申し上げるが討ちをかける如く大豪雨が続きました。亡ちお見舞申し上げる次第であります。また数万人もの方々が避難生活を余儀なくされ、更に梅雨期に入り追い討ちをかける如く大豪雨が続き難にあるとき、次々起こる自然災害にあるとき、次々起こる自然災害ににあるとき、次々起こる自然災害ににあるとき、次々起こる自然災害ににあるとき、次々起こる自然災害ににあるとき、次々起こる自然災害にたる。

以前にもこのコラムで述べましたが、東日本大震災のとき、被災地で一瞬の内に肉親を失い、家を失い、その悲しみに堪えて避難場所での生活をされた方々の事であります。どこの避難所でも整然と並び、救援物資を受けておられる姿。また、日本の各地から駆けつけたボランティアや自衛隊の姿を拝見しておりますと、大惨事中にあっても日本人古来の共同意識が維持されている様子を伺うことが出来ました。ともすると忘れつつあった血縁、ともすると忘れつつあった血縁、子を伺うことが出来ました。ともすると忘れつつあった血縁、方を見うことが出来ました。ともすると忘れつつあった血縁、方を見りことが出来ました。

しかしながら戦後、欧米より移入された、「自然は人類のために在り」という、自然を征服し制圧し、自然を自由自在に操ることができるという、謂ゆる近代的思想であります。原発事故の危機の深層には、この近原発事故の危機の深層には、この近原対する自然界(神々)からの警問に対する自然界(神々)からの警告なのでしょうか

予知することは出来ません。 速の処理能力を以ってしても震災を 地の処理能力を以ってしても震災を 当時世界一と言われたコンピュー

古代より日本人は、自然も人間も生きとし生けるすべてのものは、同じ神々より産まれた兄弟同胞であり、いわば自然の営みの中に日本的霊性を感じていました。そうして自然を要が感じていました。ったいものを見る、または目に見えないものを見る、または信じる力でもあります。
霊性の枯渇が人を思いやり、国のことを考える力をも衰えさせているをチャンスに変え、偏った近代思想をチャンスに変え、偏った近代思想をチャンスに変え、偏った近代思想をチャンスに変え、偏った近代思想を見放し、日本的霊性を取り戻すことが復興の近道であり、新たな日本度の道でもあると思います。

となって国民が勇気づけられてきたさまの大御心とご存在が、不動の力さまの大御心とご存在が、不動の力民と苦楽をともにする」という天皇難が繰り返されても、その都度、「国難波や水害などの自然の大惨事や国ス、日本の歴史より見て、地震や

すので日の であ本が ありの国わ まな柄が

もって報じておりました

自然を畏 を通じて、 自然に存在 自然に存在 さものに霊 性を認めてきた神道の自然観に基づ く国造り、心の復興をしていきたい ものであります。

今年の大宮八幡祭りを迎えるにあたり、5年目を迎える東日本大震災はもとよりのこと、今度の熊本地震にがて頂きたく思います。第3回を上げて頂きたく思います。第3回を上げて頂きたく思います。第3回を上げて頂きたく思います。第3回を上げて頂きたく思います。第3回を上げて頂きたく思います。第3回をは、陪観の人々も担ぐ人々も、特別でエネルギッシュな熱気溢れるが、特別でエネルギッシュな熱気溢れるが、特別であることを体感して頂きた。とことの出来る時で有り、神人合っているの出来る時で有り、神人合っているの出来る時で有り、神人合っているの出来る時で有り、神人合っているの出来る時で有り、神人合っているの出来る時であることを体感している。

います。
一日も早い復興をお祈り致したく思
一日も早い復興をお祈り致した、
このパワーを被災地にお送りして、
この瞬間も将に神業であります。 瞬にして「動」から「静」に移る又、一担当番の「き」が入ると、

頂くことを願って止みません。心安らかに安らぎのある生活をして感じて頂けるお祭りにご参詣頂き、感じて頂けるお祭りにご参詣頂き、



午前10時より

われます。 秋を迎

え

恒

例

の大宮八

ジ 期間

時より献

使

民子奉幣祭。 第31回

Z

0)

ぼ

か17日には大宮幼稚園園児

して祭りは最高潮に達します。

|踊り・方南エイサー・杉並太鼓

0 0



神社本庁幣を奉じて献幣使参進(18日)

•

和田東·和田

宮中、 方南北 育宮祭を斎行。18日午前 奉幣祭が執り行われ、 の神輿 入り

の節句飾り菊被綿が展示されます。一つな神賑行事が奉納されます。清涼 よる弓の 清涼殿ロビー の神事**三三九手挟式**など、期また18日午後には小笠原流宗 では9日より 19

第 31 П 神輿合同宮入り 間中:

重陽 は様

発験。一のの 繰り広げられ境内は興 賑わう表参道を進み、 随 社殿前の定位置に 年 の神輿合同宮入りは第31回を数 の鳥居、二の鳥居を通り、 木遣りの音頭を合図に八幡前 笑奮の坩堝と化します。1.9基が揃い神輿振りが 神門を次々と潜って大前に参 多勢の え、 参拝者で 通りをご 18 日 夕刻



の安泰を祈念します。17日夕刻6時ぜられ秋の実りの感謝と皇室と国 として大前に奉献されます。氏子各地 地区より寄せられたご浄財が氏子 を斎行。神社本庁より幣帛が大前に (の社参もあり、さらに夕刻6 参向 17日夕刻6時に 西・松ノ 大宮・方南南 10時より氏子 のもと例祭 はまず15日 /木の6 神輿神霊返し祭 第3回 神輿合同 神輿神霊入れ祭 菊被綿神事 氏子奉幣祭 各神幸所清祓・宮司巡拝 若宮八幡神社 幡

例祭

9月

16

月8日

9 月 16

後朝祭(直会ノ儀) 賑行

第31回神輿合同宮入りでは暗闇

氏子6地区9基の神輿が

入り

奉納書画行燈 第18回 菊被綿飾り 第3回フォトコンテスト作品展秋の弓道奉納射会 99 月月 1511 日 ~ 999 月月月 999 日日 --252119 日日日 23 日

町内神輿渡御・社参 盆栽展示 方南エイサー踊り 大宮幼稚園 園児民謡踊り 、宮幼稚園 園児神輿宮入り 99999月月月17161515日日日日日~~1819日日 9 月 17 日

露店[120店] スカウト神輿宮入り

小笠原流三三五

~ 19 日

五夜の神遊び (仲秋祭) 9 月 25 日

(昼間)

3 -

第 18 回 重陽の節句飾り 対機のきせわた

第

16

П

+

五 夜

0)

神

遊び

•

月き

の音舞台

があると信じられ、平安時 に咲く花で破邪延寿の効能 菊は、 古代中国では仙 境

を白、 朝に朝露で湿った真綿を顔 句前日の9月8日に菊の花 取り入れられ、幕末まで行 われていました。重陽の節 て菊の香りを移し、9日早 「菊被綿」として宮中行事に 黄の真綿で覆っ



神前に奉供の菊被綿

るものです。当宮では、 にあてて若さを保とうとす 菊被綿神事を斎行 8日

飾りを9月9日より19日まで清涼殿で展示します。 翌日の朝御饌祭にこの菊被綿を神前に奉供し、 菊被綿

> ます。 祭が斎行されます。その後、 されており夕刻にはまず陪 夜の神遊びは平成13年より に続いて、 神楽殿では雅楽神楽舞の奉奏 1200基に火が灯され、 月25日に斎行されます。 人々等によって竹燈籠 第 16 口 十五夜の神遊びが 月の音舞台となり 十五 仲秋 約 観 催 9

音も共鳴して鎮守の杜に響き き乃はち氏の尺八の調べは、 八奏者「き乃はち」氏です。 広く国内外で注目を集める尺 渡り深く心に染み渡ります。 名月に照らされながら、 演奏は昨年に引き続き 虫の

また、 されます。 では月見の宴 (予約制) が催 清涼殿



尺八奏者 「き乃はち」氏

月見の宴

㈱大宮

を掲出し、ご社頭を賑々しくお飾りさせ 方のお名前(ご社名)を入れた献燈提灯 くの参拝者をお迎えするに当たり、皆様

て頂き度く存じております。

たく宜しくお願い申し上げます。

つきましては、左記によりご献燈を賜り

申初穂料 掲出期

9 月 2 日

※詳しくは社務所にお問い合わせ下さい。

(郵送は1日必着)

間

9月9日から9月25日まで

一燈 一〇、〇〇〇円

大宮太郎

献燈

提灯奉納のご案内

大宮八幡祭り(秋の大祭)の期間中多

お申し込み・お問い合わせは 大宮八幡宮 清涼殿まで 03 (3312) 7515

「月見の宴」のご案内

の音舞台奉奏後(午後8時頃よをご賞味頂く「月見の宴」を引き 神楽の調べや尺八の演奏をお楽 り)開催します。 玄の余韻の中、「月見の宴」を に因んだ特選料理『月見御膳 しみ頂いた後、 名月を愛で、古式ゆかしい雅楽・ 清涼殿では、「十五夜の神遊び」 十五夜の雅と幽

定員になり次第締切りとなりますので、お早めにお申し込み下さい お楽しみ頂きますようご案内申 し上げます。 **月見御膳**』◎御神酒付 『月の音舞台陪観指定席』含む ※雨天でも「十五夜の神遊び」「月の音舞台」は行われます。 限定 100名

-4 -

御鎮座九 百 £

牟

記念事

業

記念事業の主な概要

◇第一期事業

御社殿北側バリアフリー化整備 ・スロープ設置工事

外拝殿南北両石階段バリアフリー整備

クネット手摺り設置工事 擬宝珠付高欄(檜材)増設工事

表参道大幟ポール(一対)設置工事 御社殿内拝殿御帳・外拝殿及び神門門帳の新調

南参道鳥居扁額の補修工事 弓道場振武殿屋根葺替增改修工事

階段クネット手摺り設置工事

結婚式場清涼殿階段バリアフリー整備

結婚式場清凉殿「亀の間」改修工事

結婚式場清凉殿ロビー・階段 カーペット張替工事

祭典費・記念品費・事務費等諸経費

合計九、九〇〇万円

第3回

フ 才

トコンテスト

◇第 一期事業

エレベーター設置工事 結婚式場清涼殿バリアフリー

スト」を開催するにあたり、平成27年10

昨年に引き続き第3回「フォトコンテ

月1日から平成28年7月31日まで作品を

トイレ改修等バリアフリー付帯工事

総事業費一億五、三〇〇万円 百計五、四〇〇万円

間中に各作品を展示致します。

9月初旬には表彰式を行い、

秋の大祭期

が集まりました。これより作品を選考し、 ただき、おかげさまで、62点24名の作品 募集しました。近隣の写真店にも協力い

鎮座九百五十年式年 奉賛者芳名簿(その12

(※一万円以上のみ掲出、敬称略、順不同)平成28年4月1日~平成28年7月31日

わかば祭り

(春の大祭)

社務所扱

匿名 **伍拾萬円** 匿名**壱百萬円**

(計 参百萬円)

藤谷圓

九百五十年式年奉賛者芳名簿(その11)九百五十年式年奉賛者芳名簿(その11)九百五十年式年奉賛者方簿(その11)九百五十年式年奉賛者芳名簿(その11)九百五十年式年奉賛者芳名簿(その11)九百五十年式年奉賛者芳名簿(その11)九百五十年式年奉賛者芳名簿(を11) を謹んでお詫び致し訂正申し上げます

ご奉賛金の勧募

受付後、随時お名前を掲出させて頂き替の方々には芳名板(板札)にてさせて頂きます。また、一口以上ごさせて頂きます。また、一口以上ごった。 田口(一万円)以上ご奉賛の方々には記して、一万円)以上お願い致します。 きます。

杜

 \mathcal{O}

話

題

わかば祭り(春の大祭) 新緑も鮮やかな5月、

太鼓・方南エイサーの奉納演奏、 技奉納、 者の繁栄が祈念されました。 祭(尚武祭)が斎行され皇室国家の安泰・氏子崇敬 授与されました。 最終日の5日は、 ました。午後には、 き第16回「挙式者の集い」が清涼殿にて開催され れました。また、当宮挙式者の参列もあり引き続 「月夜」、といった日本の調べが舞と笛によって紡が で斎行され、

と第3回稚児行列が行われ6名のお稚児さんが参列しました。 開催され、舞踊家雅子氏の奉納舞踏演奏が神楽殿で行われ「ふるさと」や 第一日ノ儀こどもの祭り(稚児健康祈願祭) 斎行されました。次いで3日午後、 和天皇のご聖徳をお讃え申しあげる昭和祭が 参拝者で賑わいました。まず、4月29日、 大祭第二日ノ儀を斎行。祭典の後、

神楽殿にて第16回

「若葉inおおみや」

朧

等も開催され終日賑わいをみせました。

極真空手坂本派によるこども演武、

大宮八幡植木市

期間中は、

古盂道盂

第17回 裏千家献茶式

せて、 恒例の幼稚園茶席が開かれ、緊張した面持ちの園児たちが 席が設けられ賑々しく催されました。 家今日庵鵬雲斎千玄室大宗匠 (先代15代家元) ご奉仕のも5月4日、第17回「裏千家献茶式」が行われ、茶道裏千 日頃の練習の成果を披露しました。 添釜茶会が早朝より開かれ、 厳かにご神前に濃茶と薄茶が献じられました。また併 裏千家淡交会東京第6西支部の担当主催による奉賛 濃茶席・薄茶席・立礼席の3 また大宮幼稚園では



春の大祭当日

知 事 お孫 さん 0) 初 宮詣

まりた。 し成長を祈ら けで、お孫 に来宮されま に来宮されま に来宮されま



地 震義

被災地への支援、被災地への支援、被災地への支援、被災地への支援、を中心とした。差をもたらしました。差になりません。 被災 義 た た が 日 援 。 余 2 に 神援

宅 緒 春



玉

旗 0)

ある自

曲画

コン

クー

ル

金銀賞入選作品

展

国旗のある自由画コンクール入選作品屋

CONTRACTOR DESCRIPTION OF THE PROPERTY OF THE

浜田山で動物病院を営 をご奉納いただきました。 をご奉納いただきました。 をご奉納いただきました。 をご奉納いただきました。 会三宅剛史・陽子ご夫妻が る三宅剛史・陽子ご夫妻が る三宅剛史・陽子ご夫妻が る三宅剛史・陽子ご夫妻が

中学生等職場体

た北品コ催月

北翼廊で展示されましコンクール」で入選の作留旗のある自由画催の「国旗のある自由画権の「国旗のよる自由画を出まで、国旗協会主

しました。東田中学校6月6日~10日女子4名。今年も職場体験に中学二年生の皆さんが来社

し幼

つています。

銀附

賞属

は八人賞の大宮



4名。西宮中学校7月6日~10日女子3名。白衣袴の着装、境内説明、大祓詞の書写、雅楽の稽古、七夕笹飾りの飾り付けなどを体七夕笹飾りの飾り付けなどを体七夕笹飾りの飾り付けなどを体むました。落ち着いて挨拶をしっかりと明るく出来るようになりました。

界宗 者 平 和 会議 W C

卌

開殿説を合催の会 殿「蓬莱の間」にて理事会が 説明後に、当宮結婚式場清涼をし、宮司(理事)の挨拶・ 合した43名は、まず正式参拝 催されました。午後1時に集 の第18回理事会が当宮で開 の第6月13日、世界宗教者平和



18教 п 理 事 会が

越

0)

大おお

•

0)

迎穢た越

全員で大祓神事で大祓神事

吸が、

万員は左右の儀の後、

全

大祓神事が、午後 大祓神野前広場 大祓神門前広場 大祓神門前広場 大祓神野前広場 大祓神野前広場

ま列のし員儀

第 18 П 平安の七夕乞巧奠飾り の七夕大宮八 幡乞巧潜 ŋ

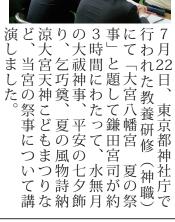
祝で説りは11再 が伝されている。 ではが伝古でよりで で大結説と中開りた。 全でなりた。 平陛付わ国さ15乞の 成下いがのれ日巧七 11御た国牽はま奠夕 年即行の牛乳で飾飾 よ位事棚織た清りり 涼が乞殿、巧 り十 で機姫 行年、つの乞殿、 わを当女星巧ロ7



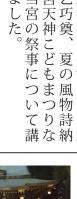
— 6 —

雅楽の調べと朝日ダ方には、乞巧舞やかに彩られましを短冊に書き、選を短冊に書き、選 うく 日奠し満

神 社 庁教 養 研 修 司 が 講 師



フ シォ 3] ンマ がス



16 П 納涼大宮天神こどもま 杜 のひびき in お おみ つ

集日涼 《まりました。午後5時30分より納涼-1は氏子青年会の模擬店に多くの子供な大宮天神こどもまつり」が行われまして月24日、25日に、夏の風物詩第161年 大たた回宮ち。「 天が24納

天神祭が斎行されま を斎行。大宮幼稚園 を斎行。大宮幼稚園 を斎行。大宮幼稚園 大学、一般の有画 方々より寄せられた り刻より灯りが入り が、子供園、女子美 を、翌25日は猛暑の内 た。翌25日は猛暑の内 た。翌25日は猛暑の内 た。翌25日は猛暑の内 た。翌25日は猛暑の内 た。翌25日は猛暑の内 行されました。 中



大宮天神祭

こどもあかりみこし

守の追 杜力 にの



子供ミニ花火の集い

8月1日の水の日、葉月朔 8月1日の水の日、葉月朔 8月1日の水の日、葉月朔 8月1日の水の日、葉月朔 8月1日の水の日、葉月朔 8月1日の水の日、葉月朔 8月1日の水の日、葉月朔 8月1日の水の日、葉月朔 8月1日の水の日、葉月朔 8月1日の水の日、葉月朔

33 П 戦 没者 慰

謝なせに清涼い 戦没 域大 し、慰霊と追悼の誠が捧げり当宮と兼務社の氏子の英清涼殿にて斎行。全国戦没清涼殿にて斎行。全国戦没でない。 終戦記域より出征された英霊をおり出でされた英霊をおり出でされた英霊をおり出です。 控げられました。 で英霊329柱に感 で英霊329柱に感 で英霊329柱に感 で基霊祭と で表記祭と で表記のする第33回 でおした。

形 代 流 神 事 旅 行

日な花ていしま山名り7るたはが温形大は、成鎮参わ27**蔵**代越

たち

は、越窓に温泉では

を参 拝癒 やし ま 28

例

当会では随時会員を出下さい。

無月書写会

宮

懇親研修

子の育日

詣

りは

八幡さまの当

安産祈

願 祭

を!

り

んどう会だより

きよ会行26大 清っ長わ日祭わ 何められました。 伊田、**御垣内清掃**が 行って、隅々まで場 を他14名の会員に の会員に で、鎌田 がは祭り(春の がは祭り(春の 掃に田が月の



10 回 総 会

合の木迎枝等年し総 合月15日、第10回 を会が開催されました。今年は設立10日 本副会長以下宮司、第 中を迎え記念大会 中を迎え記念大会 中を迎え記念大会 中を迎え記念大会 の出席のもと話26日、第10回 を記述した。 し名本を藤会10ま回



7月24日、25日「納 に乗きそばやかき氷れ、焼きそばやかき氷れ、焼きそばやかき氷 が飛ぶように売れまり」に模擬店を出店 が飛ぶように売れ







願

の方には安産腹帯

(大宮八幡息長帯

※戌の日以外でも随時お受けしております

のようで実は自分も育っていま 宮司又は神職の講話のあと、よ を通じて安心して 心づくりに寄り添 います。 ぶらで実は自分も育っています。育児は、子供を育てているだけ

母と子の茶道教室

初心者のための茶道教室

そのご

大宮八幡塾水無月書写会が6月18日から26日まで神社と共催で行われました。30日の大祓神事の後の大祓浄書奉納奉告祈願祭には、6巻の大祓戸書奉納奉告祈願祭には、6巻の大祓詞が神前に奉納されました。100体が大祓参引の大祓神事のかけられ、「福笹」として約5に小笹に飾り付けられ、「福笹」として約5に小笹に飾り付けらずにからない。

ています。そのご縁で親子で茶茶式の添釜として園児茶席を設大宮幼稚園(年長組)では毎年



開催しています。 と子の茶道教室」を を含む)を対象に、水曜日の午前 を含む)を対象に、水曜日の午前 を含む)を対象に、水曜日の名母様 を含む)を対象に、水曜日のお母様 を含む)を対象に、水曜日のお母様 を含む)を対象に、水曜日のお母様 を含む)を対象に、水曜日の日前 で、お母様方(卒園児のお母様 毎年6月中旬から下旬にかけて、 大宮八幡宮の緑の豊かな杜で、心を 落ち着かせながら奈良時代以前から 落ち着かせながら奈良時代以前から を浄書して6月の を浄書して6月の お前・教育勅語 を浄書して6月の大祓神事の 育児は育自 納めます。 絵馬」を特別に授与しております。願いが込められた「母子緒守」と「安産祈願健康にご出産の時を迎えられますようにとの と共に、へその緒で結ばれたお母様とお子様が ご祈 戌

大宮 戌ぬ 日

早見表

1月	12 月	11 月	10月	9月	<u></u>
1月 11日 (水) 23日 (月)	6日(火)	11月 (土) 24日(木)	7日(金)	1日(木)	一成28年9
23日 (月)	6日(火) 18日(日) 30日(金)	24日(木)	7日(金)19日(水)31日(月)	9月 1日(木) 13日(火) 25日(日)	平成28年9月~平成29年1
	30日(金)		31日(月)	25 日 (日 (日)	29年1月

毎月15日 毎月1日

月次祭

毎月25日

大宮天神月次祭

ご自由にご参列下さい

毎月・お朔日参りを致しましょう

朔旦祭

大

秋も深 ŋ

0)

豊

か な

実

りに感謝

新い

タスされてい

38 回 杉並大宮菊花展

され 込めて作られた様々な菊の大愛好家の方々によって、丹精 期間中は杉並区内外在住の菊「菊づくり講習会」も開催。 よで る杉10 れます。4月より月毎にる**杉並大宮菊花展**が開催杉並大宮菊の会の主催に10月21日から11月23日ま



神符奉戴式を斎行

境内を彩ります。

えるための、**神宮** 札をお祀りして、

では、新しい神宮大麻や氏神様のおいでは、新しい神宮大麻原布式並びに氏神神社神符等奉戴式が斎行されます。ご神前において大宮大麻・三宝荒神などの御神札に御神霊遷しをして、神宮大麻には、新しい神宮大麻・三宝荒神などの御神札に御神霊遷はそれば布がある。各ご家庭や会社ます。各ご家庭や会社 0) 務所の神棚

大宮外幡宮神璽

111

大船里大神宫歌

11をに 月感23謝

祭りは、五穀豊穣を祈、11月23日 の「**勤労感謝の日**」の、 を積神饌としてた稲恵の が西支部や氏子にが丹庸の が西支部や氏子に稲恵の が一野菜果物なされた を がは、五穀豊穣を が、11月23日 の、



第 26 田 杉並花笠祭り



産協会、杉並区福祉協議会)が開形県、山形県観光協会 11: 花笠祭り開催奉催されます。当日 コルモ、 風 主 物12 |催:サミット㈱、物詩第20回「杉並 7時第10日(土) 山形県観光協会、七、大宮八幡宮。谷 恒例の初冬の



七五三年齢表

七歳 女児 平成 22 年生 五歳 男児 平成 24 年生 三歳 男・女児 平成 26 年生 ※生まれ年と年齢は数え年によるものです。 満年齢でお受け頂いても差し支えございません。

ご予約会日:毎日朝10時~夕方5時まで開催

らしい一日にしてあげま皆さまの大きな愛で素晴

ることでしょう。だからこ

可愛らしさで胸を一杯にす ひとつ成長した誇らしさ、

そ、大切な記念日を家族

を迎え、お子さま自身も

する七五三詣。

晴れの日

長と幸せな未来をお祈りお子さまの健やかな成

の大切な記念日をお手伝タッフが参拝される皆様実施致します。熟練のス のご案内です。七五三の決め頂ける展示ご予約会大宮八幡宮で全てをお お祝い当日も同じ会場で いさせて頂きます。 お待ち致しております 皆様のご来場を心より

の祈年祭(春の大祭)と対をなすお祭りで

々の神社で行われます。

平成29丁酉 「新春初祈願祭」 年

ご健勝・ご繁栄をお祈りする新春初祈願祭を1月1 日午前の時より連日随時ご奉仕させて頂いておりま 当宮では、平成29丁酉年の新春にあたり、皆様の

お申し出下さい。 11月末頃より受付致しておりますので、授与所へ

なりますようお祈りさせて頂きます。 4日より、ご参拝日時のご予約を承っております。 様の御神徳を戴かれ、新しい年が幸多きご発展の年と 年の初めに、社員・ご関係の皆様お揃いで八幡大神 また企業や団体関係の皆様には、仕事始めの1 月

お子様のお健やかな成長をお祈り致 7月20日) 麗

田中久久吉森吉外佐星佐関土木篠鐘小佐岡外角渡小神小竹金矢林林峯藏太荒尾鬼寺平佐田齋巻野保保田野田村々和藤根橋島井下村藤本山田部堀屋林田子田奏悟村本田牧碚澤田川藤中藤子と田野田村々和謙雄寺が一大田野藤本山田神田寺が一大田野藤田田梅晴櫂業木莉に良丸乃輔海咲士奈春弥香祥大田香

大

北澤陽向 古賀貴也 百村咲良 住

園村諒日田佳子

末永拓海 三輪陽輝 成島匠海 石花海 石花

ぜてど入大まもか自れご習か



動 5 エアドリー

通 信

大宮幼稚 Щ 本ゆ か





1 1 1 1 平 月月月月成 15 3 2 1 29 日日日日年

新年度神宮大麻頒布式 氏神神社神符等奉戴式 氏神神社神符等奉戴式 氏神神社神符等奉戴式 天長祭 大祓(年越大祓)

酒井豪木郎田田小山市を大田田田小山市を大田田田小山市を大田田田小山市を大田田田小山市を大大田市のでは、田田市のでは、田田市のは、田田市のは、田田市のは、田田市のでは、田田市のは、田田・田田市のは、田田市のは、田田市のは、田田・田田市のは、田田市のは、田田市のは、田田市のは、田田市のは、田田市のは、田田市のは、田田市のは、田田市のは、田田市のは、田田・田田市のは、田田市のは、田田市のは、田田・田田市のは、田田市のは、

笹山真也・麻衣子が追智詩・裕美

池田智康・由貴堀口宗太郎・味菜子

大宮八幡祭り(秋の大祭) 9月15日~19日

例祭[15日 午前10時]



宮司以下祭員参進



献幣使祭詞奏上



園児等の神楽「朝日子の舞」奉奏

氏子奉幣祭「18日 午前10時]



奉幣使 氏子幣を奉じて参進



江戸消防記念会による木遣りを先頭に参入



9基一斉の神輿振り

氏子町会神幸所

大宮地区

大宮宮元會神幸所

方南地区(南・北) 峰睦会神幸所 新栄若睦会神幸所 泉南睦神幸所

方南西神幸所 方南東神幸所(上) 方南東神幸所(下)

和田地区(東・西)

和田睦会神幸所 和田敬神会神幸所 和田仲組神幸所 和田南神幸所 和田東神幸所

松ノ木地区

松ノ木睦会神幸所

大 宮 第106号 平成28年 秋の大祭号 平成28年9月1日発行

大宮八幡宮社務所

〒 168-8570 東京都杉並区大宮2-3-1

電 話 (3311)0105 FAX(3318)6100

Mail: info@ohmiya-hachimangu.or.jp

奉納神賑行事

第31回神輿合同宮入り「18日 午後6時]



園児民謡踊り[17日]



献華いけばな 小原流展 [16~19日]



方南エイサー [17日]



小笠原流三三九手挟式 [18日]



高井戸囃子[18日]



野点茶会[18日]